

# NAIS 松下電工

保管用

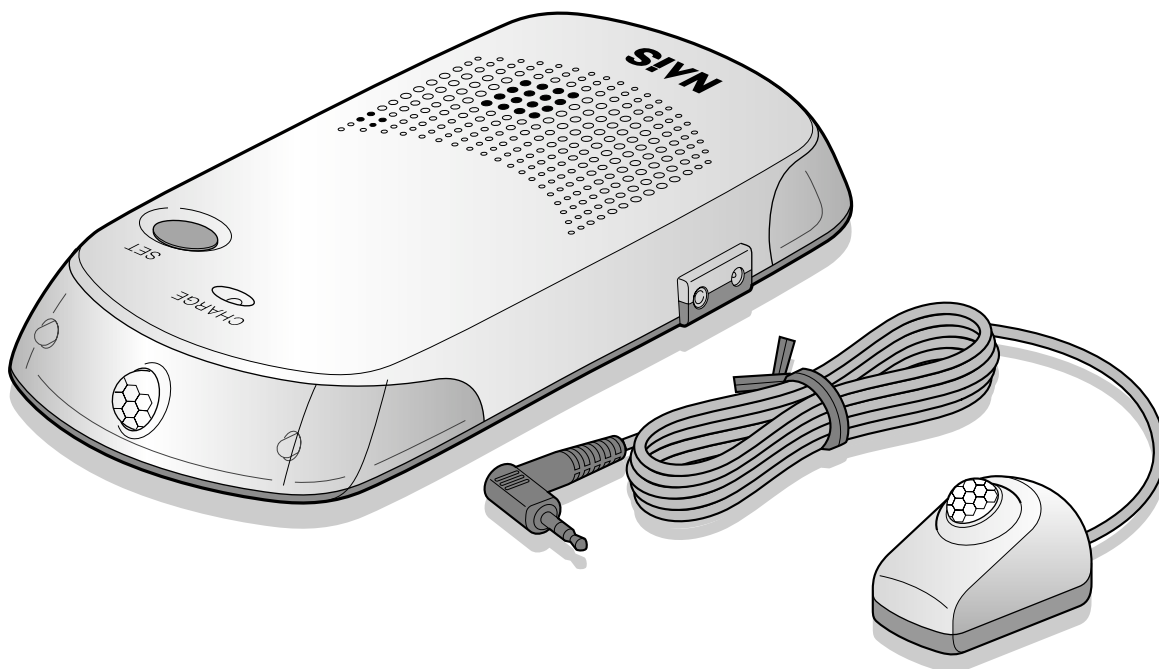
保証書添付

車上盗難警報器

## オートポリス

### VDF2010・VDF2110

# 取扱説明書



- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

本器はセンサにより異常を感知し、警告・警報を発する警報装置で盗難を完全防止できるものではありません。また、発生した盗難事故、イタズラなどによる被害、損害に対するの補償はできませんので、あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
  - ⚠警告: 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
  - ⚠注意: 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

1. 取付けの際には必ずエンジンを停止した状態で行ってください。
2. 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドル、アクセル、シートベルト、エアバッグなど)の妨げにならない様に取付けてください。誤った取付けは、交通事故などの原因になります。
3. 本体をサンバイザーに確実に取付けてください。落下による事故の原因になります。
4. 専用の充電電池を火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。
5. 絶対に改造・分解・修理しないでください。発火や感電・けがのおそれがあります。
6. 12V( マイナスアース車 )専用です。それ以外で使用すると、感電・発火のおそれがあります。

## ⚠ 注意

1. 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できません。
2. シガープラグは必ず、付属のものをご使用ください。
3. 本器を車のバッテリーなどと直接接続することはできません。感電や故障の原因となります。
4. 本器の取付け時には、付属品以外の部品は使用しないでください。
5. シガープラグ内部のヒューズは3Aのものを使用してください。それ以外のヒューズを使用すると故障の原因となります。
6. 車上盗難警報器用充電電池( VDF2801 )を使用してください。
7. 車内に人がいる状態で使用しないでください。大音量の警報音により、聴覚に異常をきたすおそれがあります。
8. エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車の場合には、警報器のセット前にシガープラグを抜いてください。(また、シガープラグをシガーライターソケットに差込むと警戒解除になります。)
9. 本体やリモコンを車のダッシュボードなど直接日光が当たる場所に設置・放置しないでください。変色や変形・故障の原因となります。
10. 本器は乾いた布等でふいてください。シンナー、アルコールなどではふかないでください。変色の原因やセンサの故障の原因となります。

## 使用上の注意

- エンジンを切った状態でないと警戒セットはできません。  
(ターボタイマー使用車はエンジンが停止後でないと警戒セットはできません。  
エンジンスターター使用車は、警戒中にエンジンスターターを動作させると警戒が解除されます。)
- 車全体にスモークフィルムが貼付けてある場合、リモコンが使用できない場合があります。
- 警戒セット時は、必ず車のドアや窓ガラス、サンルーフなどを完全に閉めてください。  
窓ガラスが開いていると、正常に動作しません。
- オープンカーには使用できません。
- 警戒中(駐車中)の車内に、人、小動物などがいない状態でご使用ください。センサが検知し、警報動作をします。
- 警戒中(駐車中)に車内で他の機器(空気清浄器、冷蔵庫など)を作動させないでください。  
センサが検知し、警報動作をします。
- 強い風、雷及び雨、雪などが降ったときや花火、飛来物などにより、窓ガラスやボディの衝撃を検知した時は、警報を発する場合があります。
- 初めてお使いになる時は、付属のニッケル水素電池を装置後、充電ランプが消えるまで充電してください。
- 長時間使用しない時は、電池を取外して保管してください。  
警戒をセットしなくても電池は消耗しますので、過放電状態となり電池の寿命が短くなります。  
電池だけ長期保管する時は、6カ月に1度は充電を行ってください。電池の寿命が短くなります。

# 各部のなまえとはたらき

## 本体

### 警報ランプ

前後左右に計4個のランプを搭載しています。警戒中は順次点滅し、警報中は全点灯します。

### 警報ブザー

警告、警報を発します。

### 音圧センサ

ドアを開けたときや、車への衝撃を感知します。

### 警戒セットボタン

エンジンOFF後にボタンを押すと、警戒セットできます。

### 充電ランプ(赤)

充電中に点灯します。セット時、解除時に、約5秒間点滅します。

### ひとセンサ

人の侵入を感知します。

### 子器接続ジャック

付属の子器ユニットを接続します。

### シガープラグ接続ジャック

付属のシガープラグユニットを接続します。

### 感度調整ボリューム

ドアを開く時に発する警報動作の感度を調整できます。(警告動作は調整できません。)

### 電池カバー

付属のニッケル水素電池を収納します。

### 取付けばね

サンバイザーにはさみ込みます。

### リモコン受信部

リモコン信号の受信部を内蔵しています。左右2個搭載しています。

## シガープラグユニット

### 本体接続用プラグ

本体ジャックへ接続します。

### コード(約3m)

### シガープラグ

車のシガーライターソケットに差し込みます。

## 子器ユニット

### 本体接続用プラグ

本体ジャックへ接続します。

### コード(約1.2m)

### 子器

### ひとセンサ

人の侵入を感知します。

## リモコン

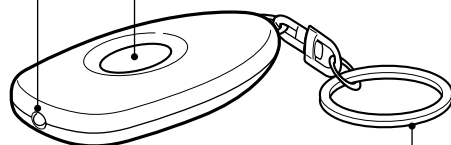
### リモコン発信部

この部分を本体に向け発信してください。

### ON/OFFボタン

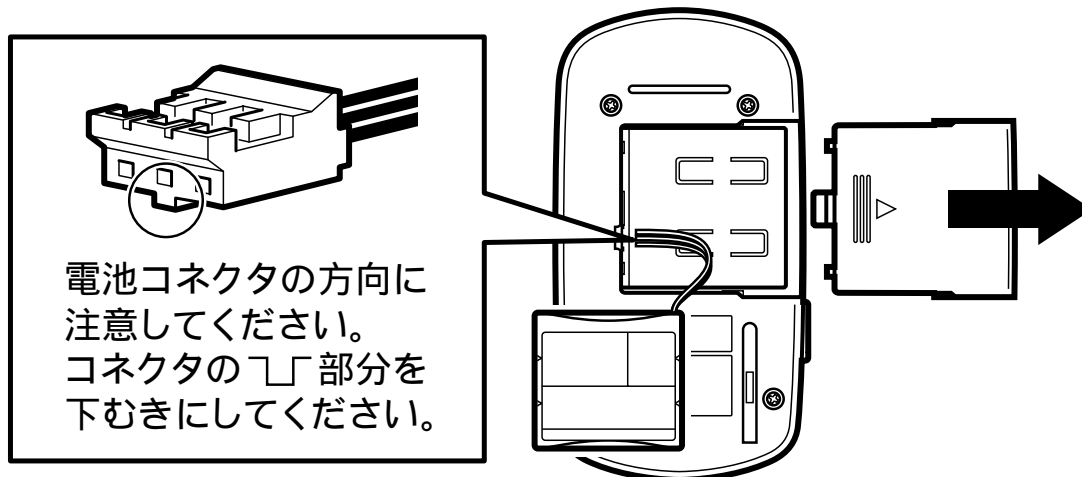
ボタンを押すことにより警戒セットができます。警戒中、警報中にボタンを押すと解除されます。

### キーホルダー

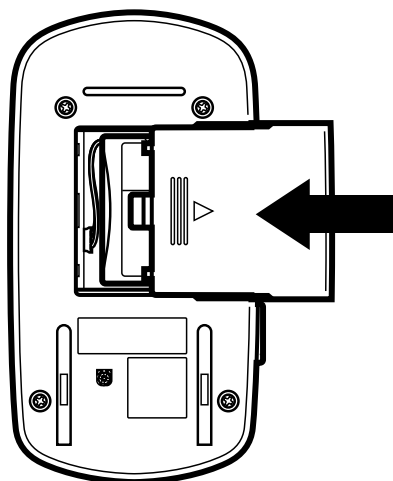


# 車盗難警報器用充電電池の入れ方

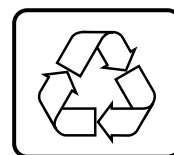
- 1 電池カバーを開ける。
- 2 付属のニッケル水素電池のコネクタを、ケース内のジャックに差込む。



- 3 コードをはさまない様に注意して、電池カバーを閉める。



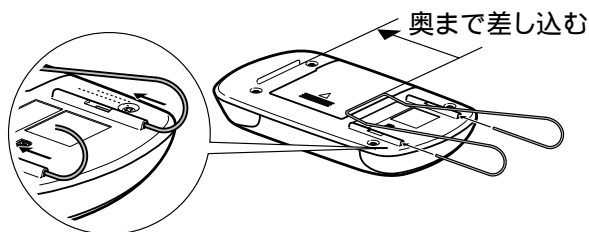
- 本器は専用のニッケル水素電池を使用します。専用電池以外は使用できません。
- 電池には寿命があります。十分な充電ができなくなったら、新しいものと交換してください。
- 交換電池:品番 VDF2801
- この製品に使用しておりますニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池はリサイクルへご協力ください。



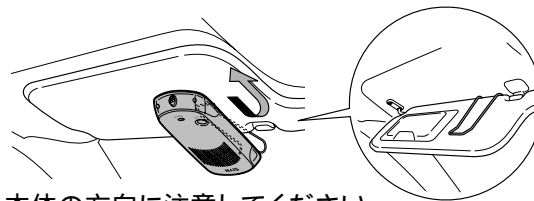
**Ni-MH**

# 取付方法

## 1 取付けばねを本体へ差込む



## 2 本体を助手席側サンバイザーの右はしにはさみ込む。



本体の方向に注意してください。  
(充電ランプ部分が車内方向に)

### 警告

- 本体をサンバイザーに確実に取付けてください。落下による事故の原因になります。
- 取付けばねを本体へ差込む時に取付けばねの先端でケガをするおそれがあります。

### 注意

- 本体は必ずサンバイザーに取付けてください。  
ダッシュボード等に取付けるとひとセンサが正常に機能しません。
- 運転席側のサンバイザーには取付けしないでください。

本体と子器のひとセンサで、車室内への人体侵入を監視しています。

## 3 付属の両面テープにて、子器をセンターピラーに貼付ける。

(センターピラーに両面テープで直接貼付けられない時は、付属の取付金具を使用してください。)

〔両面テープを貼る上での注意〕

子器取付け前に、取付け位置をテープなどで仮決めしてから貼付けてください。

助手席のヘッドレストにかからないようにしてください。

コードが上にくるように(子器の方向)注意してください。

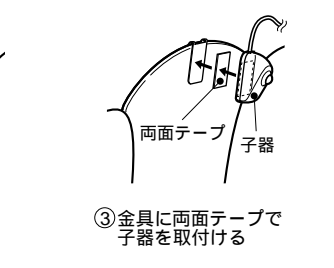
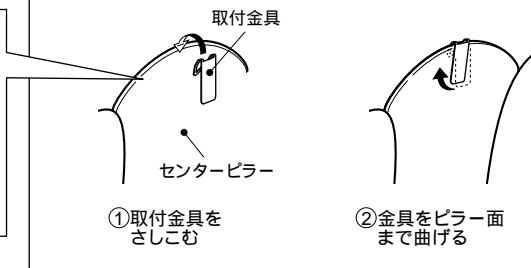
両面テープ、配線クリップの貼付面はなるべく硬く平らな場所を選んでください。

粘着力が弱くなり、外れるおそれがあります。

両面テープ、配線クリップの貼付面は汚れを落としてから貼付けてください。

汚れていると粘着力が弱くなり、外れるおそれがあります。

(取付金具を使用する場合)

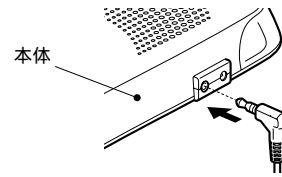


挿入が固い時は市販の工具などを使用してください。

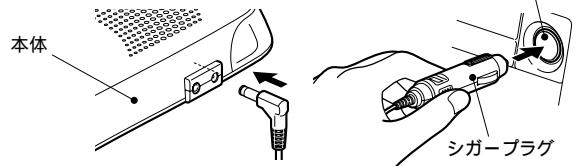
取付金具をセンターピラーに取付けた際にすき間が発生する場合は、取付金具をガタ付かないように曲げてください。

# 取付方法

**4** 子器ユニットのプラグを本体の子器接続ジャックに接続する。

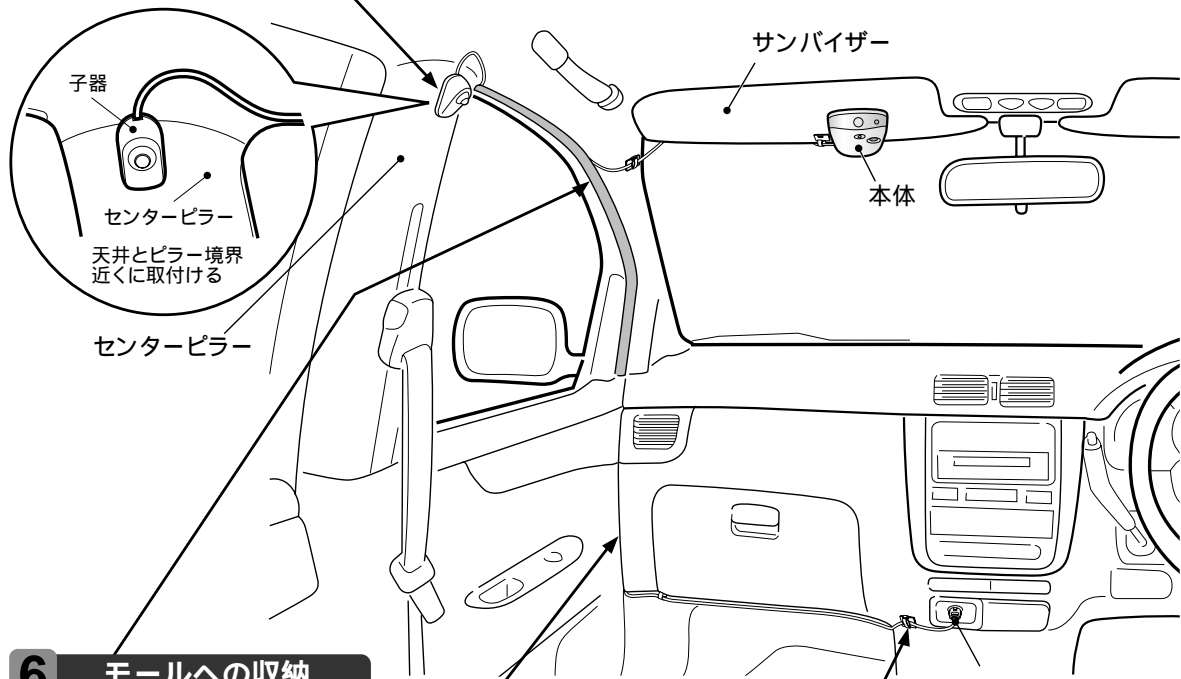


**5** シガープラグユニットを、本体と車のシガーライターソケットに差込む。

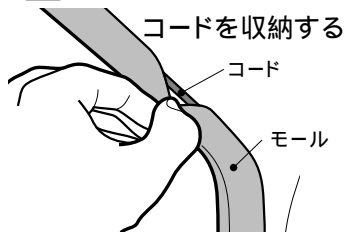


**6** 配線进行处理する。  
モールへの収納、配線クリップを使用する。

## 3 子器の取付け

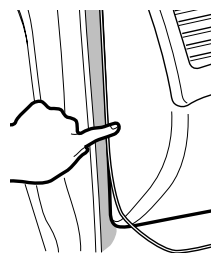


## 6 モールへの収納



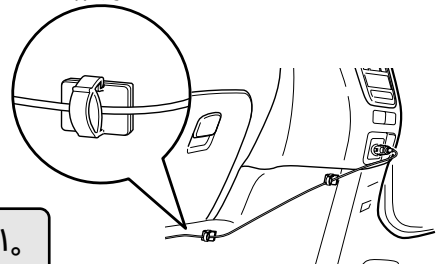
## 6 モールへの収納

コードを収納する



## 6 モールへの収納

配線クリップで止める



モールが硬い場合は市販の工具を使用してください。  
モールがない場合は配線クリップを使用してくださ

# 充電の手順

1 「取付方法」を参照し、シガープラグを接続する。

2 車のエンジンをかけて、充電する。

本器はエンジンをかける(車キーがACCまたはON)と約10秒後に充電が開始され、充電ランプが点灯します。電池がフル充電になった時やエンジンがOFFになると、自動的に充電は停止します。

充電は本器が自動的に判断して行いますので、シガープラグは常時シガーライターソケットに接続しておいてください。




電池が空の状態であれば、約1時間でフル充電されます。  
フル充電で、約1週間(警報1回/1日)連続監視が可能です。

長時間(約7日間以上)使用する場合は、電池容量がなくなり監視状態が停止する場合があります。

## ⚠ 警告

12V(マイナスアース車)専用です。  
それ以外で使用すると、感電・発火のおそれがあります。

## エンジンON時の充電ランプの状態

	充電中	充電中は点灯しています。 電池が充電完了になれば、自動的に充電は停止します。
	充電待機	充電電池の温度が充電に適さない時。 (充電適性温度 約0 ~ 40 )
	充電不足	充電を途中で止めた時は5秒間点滅します。 (エンジンをOFFした時) 充電不足の時に、警戒をセットした場合は5秒間点滅します。
	充電完了	充電が完了した時は自動的に消灯します。 また、エンジンON時にすでに十分な電池容量がある場合は、充電はされません。

## 充電待機の時は

運転中またはエンジンON時に充電ランプが点滅した場合は、充電電池の保護のため、充電は行われません。  
適正な温度になって(充電ランプが消灯して)から、一旦エンジンを切り、再度エンジンをONして充電してください。

## ⚠ 注意

- シガープラグは必ず、付属のものをご使用ください。
- 本器を車のバッテリーなどと直接接続することはできません。  
感電や故障の原因となります。
- シガープラグ内部のヒューズは3Aのものを使用してください。  
それ以外のヒューズを使用すると故障の原因となります。



# 警戒状態のセットと解除

## リモコンを使用する場合

### 警戒状態にセットする場合

- 1 すべての窓ガラスを完全に閉める。
- 2 エンジンを切り、降車して施錠する。
- 3 リモコン発信部を本体のリモコン受信部へ向けリモコンのボタンを押す。
- 4 約30秒後に警戒状態になります。

確認

- 警報ブザーが2回『ピッピッ』と鳴ります。
- 警報ランプが2回点滅後、順次点滅を開始

#### 警戒状態とは

リモコンにて本体電源をONさせると、本体の4個の警報ランプが順次点滅を開始し、警戒状態待機中となります。その後、約30秒後に警戒状態になります。  
警戒状態待機中は警報ランプが早く点滅します。  
警戒が開始されると、警報ランプはゆっくりとした動作になります。

### 警戒状態を解除する場合

リモコンのボタンを押して、警戒状態の設定を解除させる。

確認

- 警報ブザーが1回『ピッ』と鳴ります。
- 警報ランプが1回点滅、順次点滅ランプが停止

警戒状態中、警報中でもリモコンのボタンを押すことにより、解除はできます。

エンジンON時には、警戒状態にはなりません。必ずエンジンOFFの状態でセットしてください。

### ⚠ 注意

- リモコンは運転席または助手席側から本体の方向に向けボタンを押し、セットされたことを確認してください。
- 窓ガラス全体にスモークフィルムが貼付けてある場合、リモコンが使用できない場合があります。

## セットボタンの場合

### 警戒状態にセットする場合

- 1 すべての窓ガラスを完全に閉める。
- 2 エンジンを切る。
- 3 本体の警戒セットボタンを押す。
- 4 約30秒後に警戒状態になります。

確認

- 警報ブザーが2回『ピッピッ』と鳴ります。
- 警報ランプが2回点滅後、順次点滅を開始

#### 警戒状態とは

セットボタンを押して本体電源をONさせると、本体の4個の警報ランプが順次点滅を開始し、警戒状態待機中となります。その後、約30秒後に警戒状態になります。  
警戒状態待機中は警報ランプが早く点滅します。  
警戒が開始されると、警報ランプはゆっくりとした動作になります。

### 警戒状態を解除する場合

- 1 車の施錠を解除して、乗車後すぐにエンジンをかけてください。  
エンジンがONするまでは警報音が鳴ります。
- 2 エンジンをONさせることにより、自動的に警戒状態の設定は解除されます。

セットボタンでは、解除させることはできません。

### ⚠ 注意

- エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車の場合には、警報器のセット前にシガープラグを抜いてください。(また、シガープラグをシガーライターソケットに差込むと警戒解除になります。)

# 検知・警報動作

監視中に窓ガラス、ボディを叩くなどの衝撃、ドアの開閉、人体侵入などを検知した時には、次のような警報動作を発します。

警告動作

窓ガラス、ボディへの衝撃を検知した時



### 警告

警報ランプ	2回点滅
警報ブザー	『ピッピッ』

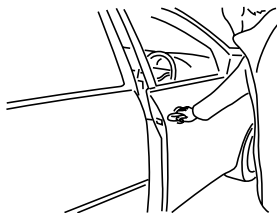
軽い衝撃を検知した場合、警告を発します。  
警告音が鳴っている時にドア開閉、人体侵入を検知すると、警報が優先されます。

警報動作

窓ガラス、ボディへの強い衝撃を受けた時



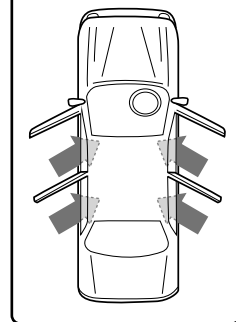
ドアが開けられた時



人が侵入した時



どのドアからの侵入も感知します



### 警報

警報ランプ	点滅(約30秒間)
警報ブザー	『ピロピロピロ...』(約30秒間)

約30秒後、警報は停止しますが、警戒は継続していますので、再度検知すると警報を発します。

### 感度調整

本体裏面の感度調整ボリュームはドアを開く時に発する警報動作の感度を調節するものです。このボリュームは工場出荷時に標準的な車種に合わせて調整されていますが、ドアを開いた時、警報を発しない場合は大(右まわり)の方向に調整ください。

### 感度調整



### 警報を止めるには

付属のリモコンのボタンを押すことにより、警報を解除できます。強制的に解除した場合は警戒も同時に停止しますので、警戒状態にするには、再度警戒セットさせてください。

## ⚠️ 注意

- 警戒中(駐車中)に車内で他の機器(空気清浄器、冷蔵庫など)を作動させないでください。センサが検知し、警報動作をします。
- 車内に人が居る状態で使用しないでください。大音量の警報音により、聴覚に異常をきたすおそれがあります。
- 強い風、雷及び雨、雪などが降ったときや花火、飛来物などにより、窓ガラスやボディの衝撃を検知した時は、警報を発する場合があります。
- トラックの往來の激しい場所や工場現場近くに駐車した場合などで、衝撃検知が連続で発生した場合、自動的に警告を停止する場合があります。
- リフト式駐車場などでは車の振動により警報を発する場合があります。

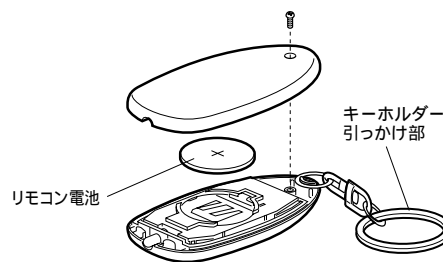
# 警報お知らせ機能

警戒中に警報が動作した場合には、リモコンによる解除後、エンジンキーをONにした時に警報ランプが5秒間(6回)点滅して警報動作があったことをお知らせします。  
(解除前の警戒期間で警報1回以上動作した時)

# リモコンの電池の入れ方

リモコンでの動作ができなくなったり、応答が悪くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。交換用電池は市販品を別途ご購入ください。適合電池:リチウムコイン電池CR2025

リモコン裏面のねじを外し、電池を交換する。  
元のとおりはめ合わせてねじで固定する。

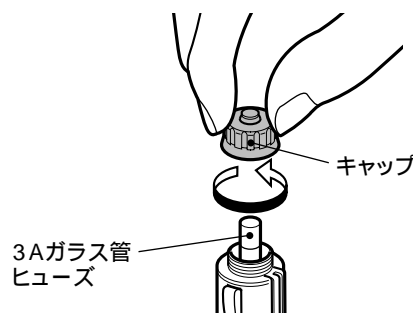


## ⚠ 注意

- 適合した電池を必ず使用してください。
- 極性を間違わないでください。
- 電池交換の際、内部部品を外さないでください。故障の原因になったり、防雨性能に影響をきたします。
- ねじは過大な力で締め付けしないでください。ねじ山がつぶれて使用できなくなります。
- ねじは確実に締めてください。防雨性能に影響をきたします。

# ヒューズ交換の方法

シガープラグの先端のキャップ (黒いプラスチック部) を左に廻しヒューズをシガープラグから取出し交換してください。

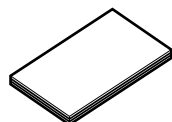


## ⚠ 注意

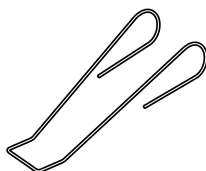
- ヒューズを交換しても再びヒューズが切れる場合は、お買い上げの販売店にお持ちください。

# 付属品

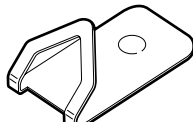
子器取付け両面テープ



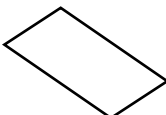
取付けばね



子器取付け金具

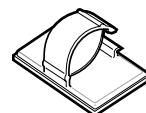


車上盗難警報器用ステッカー (2枚)

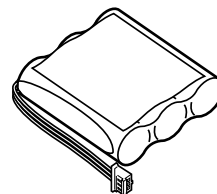


ステッカーは、視界を妨げないリア(後部席)ドアガラス面に、車内側より貼付けしてください。

配線クリップ×3コ

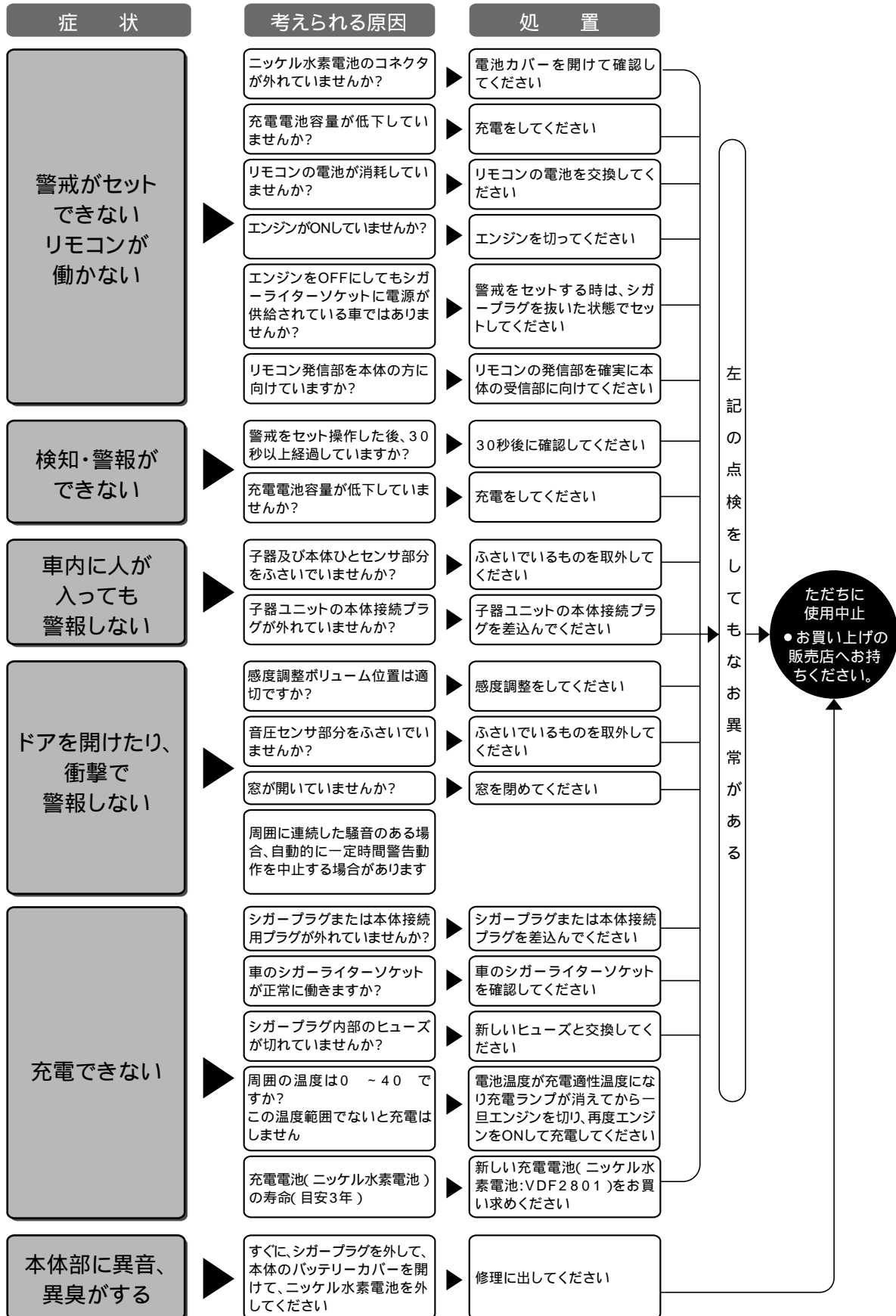


車上盗難警報器用充電電池



# こんなことがおこったら

修理を依頼される前に 下記の点検をお願いします



## 仕様

### 本体

電源電圧：DC12V(シガープラグ入力電圧)  
内蔵電池：DC3.6V(ニッケル水素電池)  
消費電流：監視時...5.0mA(平均値)  
                  警報時...530mA(平均値)  
                  充電時...930mA(平均値)  
警報音圧：100dB(50cm正面)  
動作温度範囲：-20 ~ 85

### リモコン

使用電池：リチウムコイン電池 CR2025×1個  
動作温度範囲：-10 ~ 60  
その他：防雨型

## 別売部品

車上盗難警報器用充電電池：VDF2801  
シガープラグユニット：VDF2803(受注品)  
リモコン：VDF2804(受注品)  
子器ユニット  
                  VDF2010用：VDF2805(受注品)  
                  VDF2110用：VDF2812(受注品)  
取付けばね：VDF2806(受注品)

リモコンの追加購入をされる場合には、本体裏面に記載の製造年月日と製造番号を連絡の上、ご注文ください。

## 保証とアフターサービス(よくお読みください)

### 保証書について

この取扱説明書には、保証書がついております。保証書は所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間はご購入日より1年間です。

但し充電電池(ニッケル水素電池)及びリモコン用電池は消耗品ですから保証の対象外です。

### 補修用性能部品の保有期間

当社は、この車上盗難警報器の補修用性能部品を製造打切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼される時

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の裏面「こんなことがおこったら」に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

#### 保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って修理させていただきます。

#### 保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

#### アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### 松下電工株式会社 オートモーティブ事業センター

〔〒571-8686〕大阪府門真市門真1048

フリーダイヤル 0120-083-133(AM10:00 ~ 12:00・PM1:00 ~ 4:00 土・日・弊社休日を除く)